

視察先 概要

【視察先1】 亀山晴花園 亀山 晴央 氏



1. 就農までの経緯

父の勤め先の関係で、茨城県日立市で育った。大学卒業後、建設会社に勤務したが、小さい頃に見ていた近所のシクラメン農家の風景が心を離れず、就農を決意して会社を退職。

宮城県出身の両親とともに宮城県に移住。

両親の実家近くの石巻で就農したいと考え、石巻農業改良普及センターに相談。涌谷町の手嶋一郎氏のもとで1年半研修を行った。

研修中は、研修先と同じものを自宅に持ち帰って栽培し、写真を撮るなど記録し、参考書などの情報収集に努めた。

独立後を想定した労力と作業のシミュレーションには、前職の経験が活かされたと思う。この研修時の資料が現在も経営のテキストとなっている。

2006年に独立就農。母方の祖父の水田20aを借り受け埋立整地の後、中古の鉄骨ハウスを解体し、移設したため、新品の半額程度であった。他に暖房機や資材購入費として、就農支援資金約1,000万を利用した。



2. 受賞と廃業危機

☆2011年全国シクラメン品評会最優秀賞受賞

☆2014年東北鉢物生産組合品評会最優秀賞受賞

気を良くして仕事に励んでいた矢先の2015年に事件が起きた。この年、土が値上がりしたため、仕入れ先を替えた。夏前から育ちが悪かったため、夏過ぎになって調べたところ、根こぶ線虫にやられてシクラメンが全滅。このショックは大きく、農業をやめることも考えたが、資金を借り入れどうにかしのいだ。

この件があってから、土壤消毒機をネットで安く購入し、ピートモス、腐葉土、赤玉土の全てを蒸気消毒してから使用している。

これにより、以前は1割ほど病気で廃棄となっていたが、現在は無くなった。

3. 栽培のこだわりと販売

栽培のこだわりとして、ジベレリンなどのホルモン剤を使って、花芽を上げることをしない。そのため、花が順番に咲き、長く楽しめる。

販売は市場…仙台・東京・埼玉・名古屋…への出荷が9割を占め、亀山晴花園の指定買いで、前年に予約が入る。